

つなぐ

Vol.39

2021.1月

2020年11月30日、左心耳閉鎖術
WATCHMANが50症例を迎えた。
心房細動による脳梗塞を予防するため
には、抗凝固薬を生体服用することが推
奨されているが、WATCHMANは消
化管出血や脳出血などの出血リスクのた
めに抗凝固薬を服用できない患者さんの
ための治療法だ。

当院では循環器内科・脳神経外科・消化
器内科が連携し、個々の患者さんの出血
リスクなど患者背景に合致した治療法
を選択するようにしている。いまや出血
対策や脳卒中予防はいち診療科だけで
完結できるものではなく、診療科の垣根
を越えて行われるものとなった。

現在、当院におけるWATCHMAN施
行後の薬物治療は、ワルファリン（NOAC
も心相談）+アスピリンを45日間続けた後
に、アスピリン+クロピドグレルの抗血小板薬
2剤併用療法（DAPT）に切り替えて
6ヶ月経過観察した後で、アスピリン単剤
の生涯継続をスタンダードとしている。

個々の患者さんにもっとも最適な治療を
提供するために各診療科がつながり、将
来の出血リスクを下げるために何ができ
るのかを共に考え語り合うことは、これ
からの医療に欠かすことはできない。

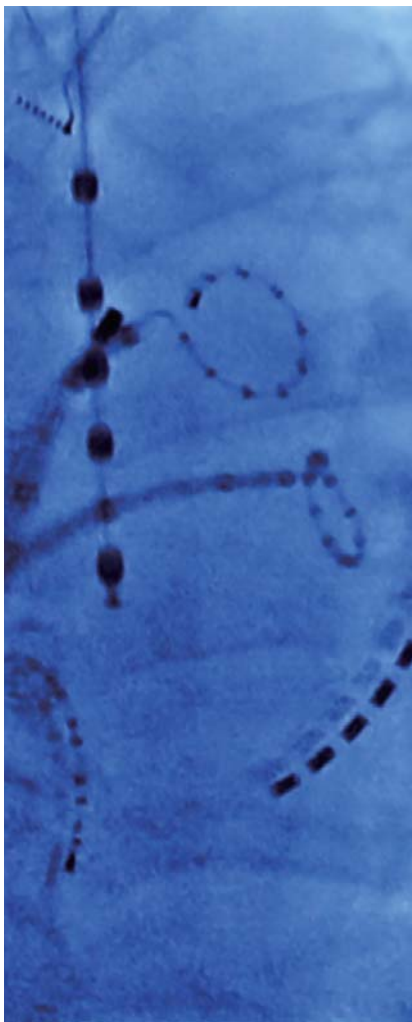




第48回

小倉循環器内科セミナー

2021年 1月25日(月) 18:00~18:30



カテーテルアブレーション の現状と展望

座 長／小倉記念病院 副院長 循環器内科主任部長 安藤 献児



小倉記念病院
循環器内科 部長
廣島 謙一

参加方法



ZOOMによる
web参加のみとなります!

zoomの事前登録は不要ですが、
事前登録しておくことでリマインドメールが届きます。



PCの場合

小倉記念病院ホームページから①病院案内→②市民公開講座・勉強会・研究会のご案内→③勉強会・研究会→④Zoomボタンをクリックで参加が可能になります。



スマホの場合

右記のQRコードを読み込んで
いただくと参加が可能になります。

